

授業科目	子ども家庭支援の心理学					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期
担当教員	杉本 有紗						
授業概要				本講義では、保育士として心の理解と支援に必要な、乳幼児期から高齢期に至る生涯発達の各段階で生じる心理について解説する。さらに、子ども家庭の心理の理解と支援に必要な、家族・家庭における夫婦、親子、社会との関係やその心理、子育て家庭に関する現状と課題について解説する。最後に、特別な支援を必要とする子どもと家族の心理について解説する。			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	<p>1. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、各時期の移行、発達課題等について説明することができる。</p> <p>2. 家族・家庭の意義や機能を説明することができる。また、親子関係や家族関係の発達について説明することができる。</p> <p>3. 子育て家庭をめぐる現代の社会状況と課題を説明することができる。</p> <p>4. 子どもの精神保健とその課題について説明することができる。</p> <p>5. 子どもと家族の発達に関心を向け、彼らの課題解決に向けた支援とは何かを考察することができる。</p>
理想的レベル	<p>生涯発達に関する心理学、家族・家庭、親子関係や家族関係の発達についての基礎的な知識をベースに、現代の社会状況における子育て家庭をめぐる課題について理解し、その課題の解決に向けた創造的な支援を探求することができる。</p> <p>個々の子ども、親、家庭の心理的・社会的状況を理解しようと努力し続けることができる。発達し、変化する子ども、親、家庭を常に新しく理解しようとし、その場その時に必要な支援について検討しようと努力することができる。</p>

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	0	
小テスト	0	
レポート	100%	小レポート、最終レポート
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

カリキュラムマップ（該当DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE21609J
学習課題（予習・復習）										1回の目安時間（時間）	
テキストを事前に読んでおく。テキストと授業資料を振り返り、自分の意見を文章に整理する。 新聞やニュースで取り上げられる子ども家庭に関わる社会的事象に関心を向ける。										4	

## 授業計画

第1回	テーマ：生涯発達とは何か 生涯発達の考え方、ライフサイクル、ライフサイクル論について解説する。
第2回	テーマ：乳幼児期の発達 乳幼児期の心身の発達、この時期の課題と援助について解説する。
第3回	テーマ：学童期の発達 学童期の心身の発達、この時期の課題や援助について解説する。
第4回	テーマ：青年期の発達 思春期から始まる青年期の心身の発達と、この時期の課題や援助について解説する。
第5回	テーマ：成人期の発達 成人期の心身の発達と、この時期の課題や援助について解説する。
第6回	テーマ：老年期の発達 老年期の心身の発達と、この時期の課題や援助について解説する。
第7回	テーマ：子育てを取り巻く社会的状況 子育てをめぐる社会、現代の家族と子育て、保育における子育て支援について解説する。
第8回	テーマ：家族・家庭の意義と機能、親子・家族関係の理解 家族・家庭とは何か、家族・親子関係の理解と支援について解説する。
第9回	テーマ：子育ての経験と親としての育ち 親になること、ライフコースと仕事・子育てについて解説する。
第10回	テーマ：多様な家庭形態とその理解 多様な家庭、多様な家庭の援助について解説する。
第11回	テーマ：特別な配慮を必要とする家庭 特別な配慮を必要とする家庭、特別な配慮を必要とする家庭への支援について解説する。
第12回	テーマ：発達支援の必要な子どものいる家庭 発達支援を必要とする家庭、発達支援を必要とする家庭への支援について解説する。
第13回	テーマ：子どもの精神保健① 子どもの生活・生育環境とその影響、子どもの心の健康に関わる症状について解説する。
第14回	テーマ：子どもの精神保健② 子どもの成長と回復力を支えるために必要な保育者のかかわりについて解説する。
第15回	テーマ：まとめ これまでの授業内容を振り返る。
テキスト	『シリーズ知のゆりかご 子ども家庭支援の心理学』みらい 青木紀久代編（2019）
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「ベーシック発達心理学」開一夫／齋藤慈子編 東京大学出版（2018） 「新基本保育シリーズ9 子ども家庭支援の心理学」監修公益財団法人児童育成協会 編集白川佳子・福丸由佳 中央法規（2019） その他、授業中に適宜紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	小レポートを返却する。
学生へのメッセージ・コメント	特にありません。 「心理学と心理的支援Ⅰ」「発達心理学Ⅰ」「発達心理学Ⅱ」を先に履修しておくことを勧めますが、履修していなくても受講できます。

2025 年度 授業コード : 22112300

実習経験のある方は、子どもや保護者の様子を振り返っておくと良いです。積極的に授業に参加してください。

